

# 地域医療と地域福祉の 充実を目指して



急速な少子・高齢化の進行や疾病構造の変化、多様化・高度化する医療ニーズに対応するため、本市では市内の公的病院が互いに連携を図ることにより、急性期・回復期・慢性期の継ぎ目のない医療提供体制の構築に努めるとともに、高齢化社会に対応し、市民の誰もが健康で生き生きと暮らすことができる安心のまちづくりを進めています。シリーズ市政の「今」。第25回は、地域医療と地域福祉の充実を目指した取り組みについてお知らせします。

## 「あたかも一つの総合病院」 として高度医療を提供

医師確保、救急医療体制の強化など、地域における医療課題を解決するため、平成24年3月に新たな計画としてスタートした「中丹地域医療再生計画」は、医療機能の「選択と集中」、「分担と連携」の基本方針に基づき、東西地域の医療パランスを考慮しつつ、市内の公的病院の特徴的な診療機能をセンター化し、病院間の連携による「安心の医療」の実現に取り組んできました。

舞鶴医療センターは、脳卒中などの脳疾患に対応する「脳卒中センター」と早産などのハイリスク出産に対応する「周産期サブセンター」、舞鶴共済病院は、心筋梗塞や狭心症などの心臓疾患に対応

## 救急医療体制の拡充

休日における救急医療については、「舞鶴市休日急病診療所」を10月25日から舞鶴医師会の協力を得て開設しました（写真1）。同診療所では、休日における入院や手術を要しない比較的低度の病状の

## 介護人材の育成と確保

高齢者の介護ニーズが高まる中、福祉施設において不足する介護人材を質・量の両面から育成・確保する取り組みを進めています。特に、府北部で人材不足が顕著であることから府と北部5市2町で連携・役割分担し、新たな人材育成から現任職員の資質向上まで一貫して取り組



写真1…開設された舞鶴市  
休日急病診療所

人を対象とした一次救急医療を担います。舞鶴医療センター敷地内に設置され、当面は、月2回の診療を実施。今後も公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）の医師の負担の軽減を図るとともに、入院や手術が必要な重度の病気が対象とする二次救急医療については、公的3病院による輪番体制をしっかりと維持し、休日における救急医療の充実に努めていきます。

急速な高齢化が進行する中、高齢者が尊厳を保ち、住み慣れた地域において健康で生きがいある人生を送ることができ、環境を整備する必要性が、ますます高まっています。今後、いわゆる「団塊の世代」の75歳到達などにより、介護サービス需要の増加が予想されることから、市では平成27年度から3年間を期間とする「第6期高齢者保健福祉計画」を策定。介護が必要となった人が、住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、医



写真2: 舞鶴YMCA国際福祉専門学校開校式

療・介護・予防・住まい・生活支援の5つのサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」(図1)の実現に取り組んでいます。今後、対策が急務となっている認知症高齢者の支援体制の推進をはじめ、運動指導員の派遣による地域での介護予防事業や公共交通機関の運賃を軽減する高齢者外出支援事業の実施など、高齢者が安心して暮らすことができ、自らの健康と生きがいづくりに積極的に取り組むことができる環境整備を進めていきます。



写真3: 生活支援相談センター（本館1階）

## 早期自立に向けた支援

近年、社会経済状況の変化により生活困窮に至るリスクが高まっていることから、市民の福祉や生活に関するさまざまな悩みや困りごとにワンストップで対応する「生活支援相談センター」(※11)に(関連記事)を本年4月より開設しています(写真3)。多重債務などの生活困窮者の課題解決や家計相談など、生活再建に係る相談に早期かつ包括的に応じながら、自立に向けた支援を実施していま

む「府北部福祉人材養成システム」を構築。そのうち本市においては、舞鶴YMCA国際福祉専門学校を誘致し、本年4月に開校したところです(写真2)。市では、地域から求められる人材を地域で育成し、就労へとつなげていくこれらの仕組みを通じて高齢社会に対応した福祉環境の充実に努めていきます。

## 「あたかも一つの総合病院」として高度医療を提供

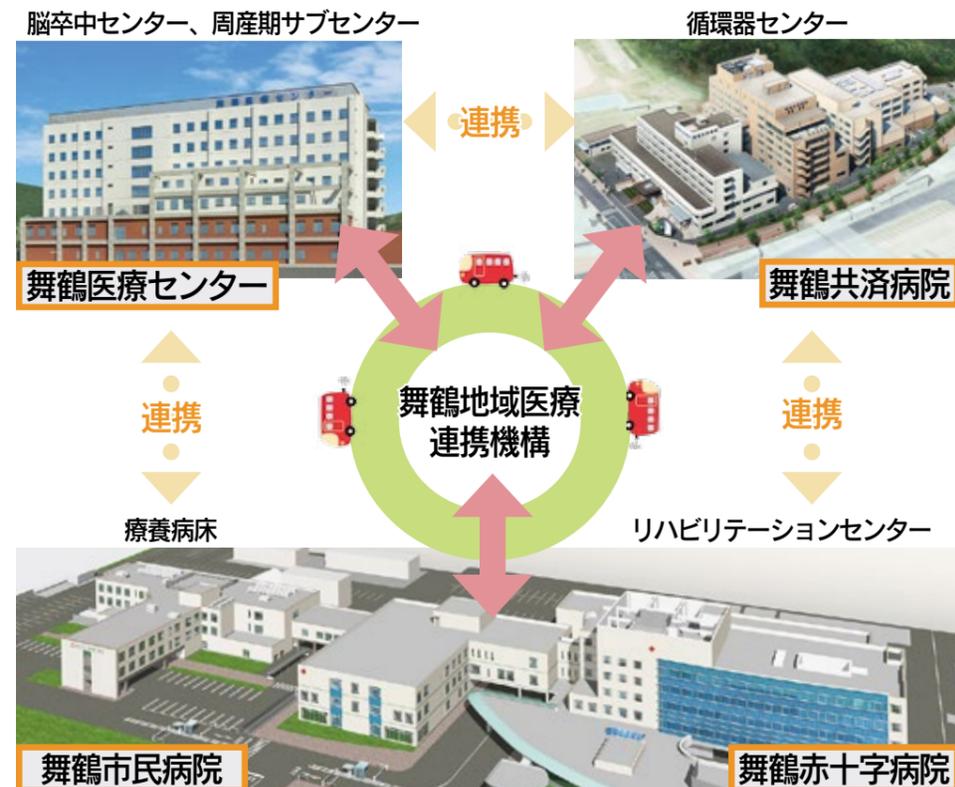


図1: 地域包括ケアシステムの姿

